

**公益社団法人 日本経営工学会**  
**第 33 期第 3 回理事会議事録**

日 時：平成 27 年 11 月 14 日（土），15:30～19:00

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 5F 大会議室

出席者：（理事）河野宏和，二ノ宮滋，外館晃，篠田心治，松林伸生，稲田周平，  
斎藤文，小西昭士，内田耕平，大久保寛基，皆川健多郎

（監事）高橋勝彦，後藤正幸

（オブザーバー） 香田政彦（日本 IE 協会）、菅野孝洋（日本 IE 協会）

欠席者：岩崎昭

会議に先立ち、事前のメール審議での了承を受けて、協議事項 1. と 2. に関してのみ、日本 IE 協会の香田氏と菅野氏がオブザーバーとして陪席されることが周知された。

### 議決事項

#### 1. 第 33 期第 2 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、（資料:1-1）に基づき、第 33 期第 2 回理事会議事録（案）が提示され、議事録として全会一致で承認された。

#### 2. 入会承認の件

会員担当理事より、（資料:1-2）に基づき、正会員 9 名，学生会員 24 名の入会申請が報告され、全会一致で承認された。あわせて、（資料:1-2）に基づき、平成 27 年度会員異動報告がなされた。

#### 3. Best Presentation Award 審査員の追加について

研究担当理事より、（資料:1-3）に基づき、審査対象の増加に伴い、審査員も増員したい旨の説明があり、今回より審査員に研究部門長ならびに研究部門幹事を追加することを全会一致で承認した。

### 協議事項

#### 1. 2016 年秋季大会について

産学連携担当理事より、当日資料に基づき、次年度の秋季大会を日本 IE 協会と共同開催することについての提案説明があった。実施体制については、共同開催実行委員会ならびに共同開催 WG とし、協議の結果、共同開催 WG の構成員は、大会担当理事，大会委員長および活性化タスク（産学連携研究交流会担当）理事 2 名、及び事務局とし、企画の詳細については共同開催 WG が中心となって検討していくことを全会一致で承認した。会長より、日本 IE 協会ならびに JIMA それぞれのセッション間を会員が相互に往復し交流することに共同開催の意味があり、共同開催の趣旨を踏まえた内容とすることが重要である旨の説明があり、大会の内容や宣伝方法等について今後の検討課題とした。

#### 2. 産学連携研究交流会について

産学連携担当理事より、当日資料に基づき、現在の申込状況の報告ならびに日本 IE 協会，JIMA の事務業務の分担，今後の広報活動等について提案，説明がなされた。

協議の結果，今後，各分科会の参加対象者ならびにメリット等をより明確化するとともに，未確定事項については早急に調整することとした。また，メール配信，各理事による広報等を行い，参加者の増員に努めることを全会一致で承認した。

なお，現在，申込人数が芳しくないため，日本 IE 協会の HP にも申込ページを設け，日本 IE 協会の HP からの申込も可能とすることとした。さらに，参加者の申込状況を把握するため，毎週金曜日に分科会毎の申し込み状況を事務局より報告することとした。

### 3. 論文誌編集委員会運営細則の変更について

論文誌編集担当理事より、(資料:1-4)に基づき、提案、説明があり、第6条7項を「なお、委員会の担当理事および編集委員が担当エリアエディタを務めている場合には、その者を除いて対応を行う。」から「なお、原則として審査に対応した者を除いて対応する。」に修正することとし、全会一致で承認した。また現在、過去にJIMAのHPに掲載されていた規則類が履歴として閲覧されてしまう状況にあるため、事務局で履歴を削除することとした。

### 4. プレ会員名簿登録プロセスの予察について

会員担当理事より、(資料:1-5)に基づき、プレ会員名簿作成試行プロセスについて、提案、説明があった。まずは、理事のみの試行とし、状況を見つつ進めていくことを全会一致で承認した。

## 報告事項

### 1. 退会について

会員担当理事より、(資料:1-2)に基づき、退会について報告がなされた。

### 2. 会員増強への取組の布石について

会員担当理事より、(資料:1-6)に基づき、会員増員に向けた取組の布石、提言事項について、提案、報告がなされた。入会申込書、退会申出書の記載事項に入退会理由の項目を追加したことにより、今後、入退会の動向の把握、管理を行っていくとともに、大会発表学生の指導教官への働きかけや企業への働きかけ等、まずはポイントを絞った会員増に向けた取組を引き続き行っていくこととした。

### 3. 来年度の予算申請 依頼状(案)について

財務担当理事より、(資料:1-7)に基づき、来年度の予算申請依頼状(案)について説明、報告がなされ、後日、事業計画の記載依頼の文言を追加し、各部門へ展開することとした。各委員会において収支が黒字になった場合の次年度予算への反映については、会長より現在の財政状況では実現することが難しい旨の説明があり、今後、会員増を図る等、改善に努めるとともに、全体の状況を見つつ、検討していくこととした。

### 4. 第2四半期(中間)の予実算報告

財務担当理事より、当日資料に基づき、第2四半期(中間)の予実算報告がなされた。事業内訳の中の論文誌ならびにシステム誌の支出については、昨年度と今年度に大きな差異が見られるが、支出の時期のずれによるものであるとの説明がなされた。

### 5. マイナンバー法施行に伴うセミナー受講報告

財務担当理事より、(資料:1-8)に基づき、マイナンバー法施行に伴うセミナー受講報告がなされた。現在、JIMAは、中小規模事業者に相当するため、軽減処置対象となり、取り扱い規程等の策定が義務ではないが、特例の大幅な見直しに備えて、今後、規定(個人情報取り扱いに関する事項を含む)を作成するとともに特定個人情報管理責任者を定める必要がある旨の説明があり、現行の規定をもとに進めていくこととした。また、マイナンバー対応システム整備(業務フロー再構築)に伴う国際文献社の委託費(会計基本料)値上げの件についても説明、報告がなされた。

### 6. 各種委員会旅費交通費試算について

財務担当理事より、(資料:1-9)に基づき、各種委員会旅費交通費試算の報告がなされ、役員の旅費交通費の支給範囲は、前回の理事会(9/19)にて承認された「総会・理事会出席のみ」とすることの妥当性を確認した。

### 7. 第33期第3回「国際渉外委員会」理事会報告

国際渉外担当理事より、(資料:1-10)に基づき、第33期第3回「国際渉外委員会」理事会報告がなされた。あわせて会長より、加盟団体である横幹連合から新理事候補推薦の依頼があり、現在

確認調整中である旨の報告があった。

#### 8. 掲載料・別刷代請求一覧について

論文誌編集担当理事より、(資料:1-11)に基づき、掲載料・別刷代請求一覧について報告がなされた。

#### 9. 業務執行状況報告

代表理事より業務執行状況について報告がなされた。具体的に、まず河野会長からは、産学連携研究交流会の開催をはじめとする学会活性化を中心に、学会全般に関して業務の管理と指示を行った旨が報告された。次に二ノ宮副会長からは、四半期(中間)の予実算がほぼ例年通りに遂行されていることを確認し、今後は次年度予算作成の準備を進めていく旨が報告された。最後に外館副会長からは、活性化タスクとして産学連携研究交流会の企画と運営の推進を行ったことが報告された。

#### 10. その他

人材育成担当理事より、当日資料に基づき、経営工学関連3団体連携事業「技術士を目指そう」説明会について案内があり、今後メルマガ配信等による広報活動を行っていく旨の報告がなされた。

二ノ宮副会長より、日本IE協会年次大会の参加人数およびアンケート結果についての報告がなされた。

最後に会長より、国際文献社との次年度契約について、業務内容および価格の見直しについて提案があった旨の報告がなされた。委託当初より内容の見直しを殆ど行ってこなかったことが今回の提案における理由の1つであるが、一方で学会として業務改善を行う必要もある旨が説明された。その点を踏まえた上で今後、委託内容ならびに委託の際のルール化等含めた話し合いを双方で行い、検討していくとの報告があった。

#### ※懇談

##### ・次期役員選挙について

庶務担当理事より、次期役員選挙の進め方について提案がなされた。立候補者が定足数に満たなかった場合の対応について、従前の手続きより変更することの是非について問題提起があり、今後の検討課題とした。

※次回第33期第4回理事会は、平成28年1月9日(土)15:00~18:00、慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館5階大会議室にて開催する。

議 長 河野 宏和 印

議事録署名人 高橋 勝彦 印

議事録署名人 後藤 正幸 印